

# 学びの基盤づくり部会

## 1つくる

- 1 学級力向上の取組
- 2 「南っこ学習のきまり」の児童への周知
- 3 全校に向けたSST動画配信

## 2なれる

- 1 ICT活用系統表
- 2 授業における、端末の日常的な活用

## 3まもる

- 1 情報モラル教育
- 2 共通実践としての重点取組（一分前着席）
- 3 タブレット使用の約束

# 1 つくる

## 1 学級力向上の取組について



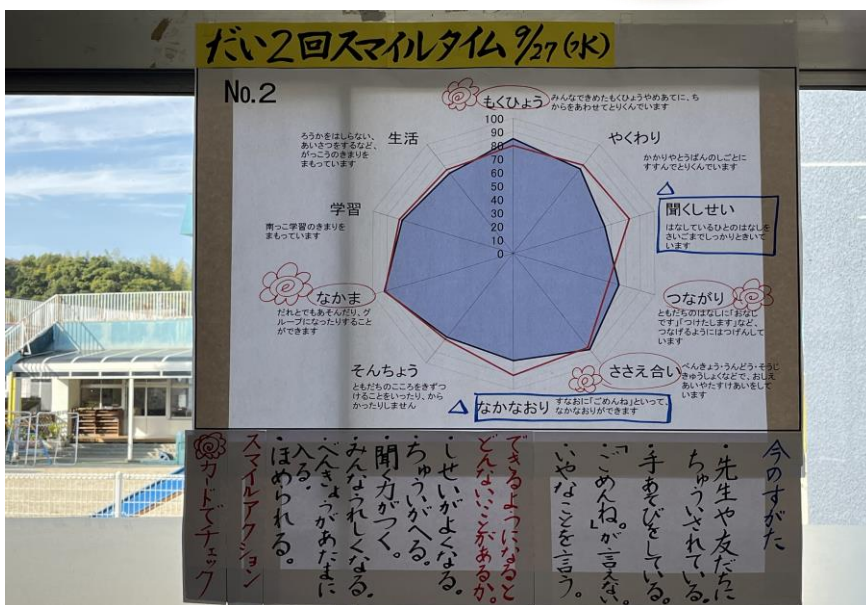
学活の中に位置づけた話し合い活動としての「スマイルタイム」において、アンケートから作成したレーダーチャートを吟味する。

子ども達の話し合いの例

「よかったところはどこですか。」

「課題点はどこですか。」

「スマイルアクションは何にしますか。」



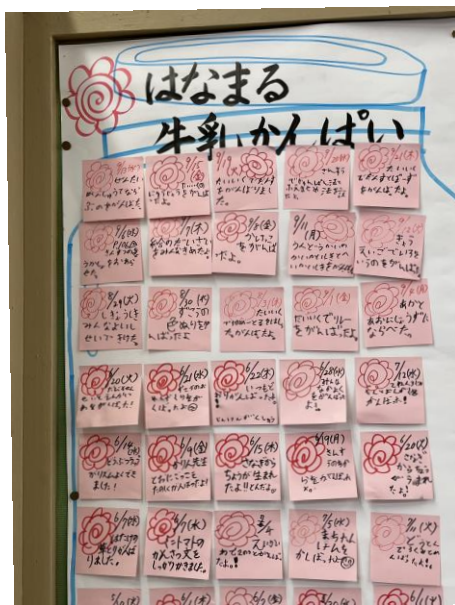
レーダーチャートや話し合った結果を掲示しておくことで、スマイルアクションの共有化と意欲づけをねらっている。

### ○ スマイルアクション例

いろいろなスマイルアクションが実施されている。

スマイルアクション例

- ・はなまる貯金
- ・ビー玉貯金





# ○スマイルアクションの玉手箱

スマイルアクション一覧

令和3年8月27日(金)  
学級づくり部会

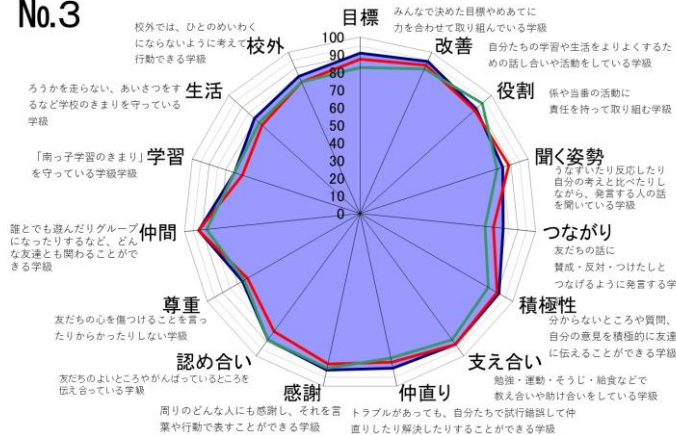
目標設定法	<p><b>紙に貼る</b> 自分の目標を書き、貼りに貼る、見直す。</p> <p><b>目標の山</b> 大きな目標を立て、その目標に向かう小さな目標をいくつか考える。小さな目標を階段シートの一段一段に書き、達成したらシールを貼っていく。(個人でも学級でもOK)</p>
チェック法	<p><b>朝の会、簿りの会</b> 朝の会に今日の目標を決め、簿りの会に一人一人チェックをする。</p> <p><b>今日のやってみよう</b> 毎朝「今日のやってみよう」という題で学級の1日の目標を決め、簿りの会で発表をする。</p> <p><b>ふりかえりカード</b> スマイルアクションで3つほど目標を決め、毎日簿りの会で、○、△でチェックする。達成しては達成感に、達成の目標を書き込む。</p> <p><b>いつでもチェック</b> トランプの様にチェックシートを用意しておき、スリッパを履いていたら○をつけて、自分から進んで来ている人がいたら名前を書き込めるようにしておく。</p>
ポイント法	<p><b>カード</b> ポイントカードをつくり、ポイントの数が多くなる表彰状を出す。</p> <p><b>ピーマン貯金</b> 目標を決めて、〇人できたらぴん玉にピーマンを入れる。ぴん玉いっぱいになるとピーマンがたまった。こぼりひ。</p> <p><b>今日のさらさらさん</b> 簿りの会で今日のさらさらさん(1日の中でいいことをしていた人)を発表する。2週間分発表したら表彰状、ピーマンがある。</p> <p><b>1週間チャレンジ</b> チェックシートをすべてつくって、1週間の目標が達成したら、一マス進める。ゴールしたらこぼりひ。</p> <p><b>ほめられ星</b> ほめられ星の数を増やしていく。星をゲットできる。</p> <p><b>〇〇チャレンジ</b> 目標達成したら、学級のみんながほめたい言葉をかける。</p> <p><b>花丸貯金</b> 学級でよいことあったら、花丸ポイントのため。決めた数が貯まったら、みんなで決めた楽しい活動をする。</p> <p><b>いいこと貯金</b> 自分やよいことしたと、用紙に書き込む。担任の先生が毎日チェックをして、つり貯まったらシールゲット。</p>

競争法	<p><b>〇〇コンクール</b> 期間を決めてコンクール(あいさつ、スリッパ履き、ろうけすり等)を実施し、よくできた人を紹介する。</p> <p><b>誰ごととピーマン</b> 目標を決めて、貯まってきたらぴん玉にピーマンを入れる。</p> <p><b>貯金</b> ぴん玉いっぱいになるとピーマンがたまった表彰状。</p>
発表法	<p><b>スマイルタイム発表</b> スマイルタイム発表会を決め、スマイルタイムの発表をしたり、スマイルタイム発表の「ピーマン」をたまって発表をする。</p> <p><b>チームカード発表</b> 一人一人目標の高さを決め、自分の得意なことを発表したら、チームカードをたまって発表する。</p> <p><b>発表(目標)</b> 発表の前に「発表をよくしてください」と呼びかけ、新しい発表を準備する。</p> <p><b>リレー発表</b> 〇〇リレー発表を決め、みんなのお手本になるような発表を取り組むようにする。</p> <p><b>学級新聞</b> いくつかの題を作り、誰ごとと学級がよくなる取り組みを考え、実践する。</p> <p><b>スマイル会社</b> スマイルタイムに集まったことを解決するために学級で「スマイル会社」を作り、社長(学級長)と社員(学級委員等)の役割を分担し、学級がよくなる取り組みや実践をする。</p>
競走法	<p><b>グラフ発表法</b> 月ごとに目標を決め、チェックして数値化する。それを棒グラフとして提示し、できていることを見えるようにする。</p> <p><b>〇〇コンクール</b> 「一部門」といくつか部門を決め、各部門のよかった人を表彰し、賞状とその作品(自書ノート、ポスター等)を提示する。</p> <p><b>パワーアップ発表</b> 学級のチャートを見て、これらがらんばると一人一人が理解し、提示する。</p> <p><b>教え合い法</b> 一人一人が発表カードを作り、そのカードで教え合う。一日先生に発表されたければ、簿りの会でも発表する。</p> <p><b>ハンドサイン</b> 口で発表するのではなく、ハンドサインで伝えたいことを発表する。</p> <p><b>お助けマン</b> 授業中、早く問題を解き終わったら、「お助けマン」になり、友達に教える。</p> <p><b>ルールポスター</b> よくできていない課題(姿勢、聞き方)について、学級で話し合いをし、よめたポスターをつくり、提示する。</p>
学級の絆づくり活動	<p><b>全員遊び</b> 発表の曜日、全員遊びの日として発表後にみんな遊び。</p> <p><b>グループワーク</b> 〇〇〇の題の会を「ここにこタイム」とし、グループで話し合えるミニゲームをする。</p> <p><b>みんなぞうり</b> 月に1回学級でテーマを決め、折り紙で一人一人の作品を作り、組み合わせて一つの図案をつくる。</p>

スマイルアクションの話し合いの参考例として、これまで取り組んだ事例を整理して一覧表にまとめた。

# ○スマイルタイムアンケートの工夫

## No.3



レーダーチャート作成のためのアンケートは、学年の実態を考慮して、内容に変化をもたせることができるようにした。

左は6年生のレーダーチャート。

# ○そして、やさしさいっぱい南小に

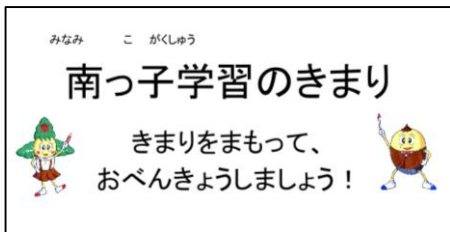


校長室の前の掲示板には、やさしさの事例の花が集まって咲いている。学級力を向上させ、やさしさいっぱいの南小を作っていくことをねらっている。

## 2 「南っ子学習のきまり」の児童への周知

低中高それぞれの「南っ子学習のきまり」を5月の児童集会で共通理解を図り取り組んでいる。

今年度は「南っ子学習のきまり」の中にタブレットを使用するときのきまりをもりこみ、共通実践事項として児童に示した。



低・中・高系統だった学習のきまり

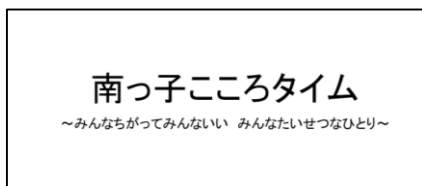


児童集会で利用したスライド

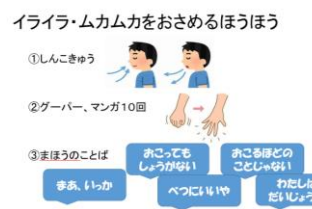
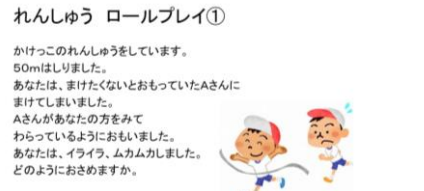
## 3 全校児童に向けたSST動画配信

将来につながる人間関係力向上のため、全校児童に向けてソーシャルスキルトレーニングを共通実践することを計画。

「南っこころタイム」として動画を作成し、配信する取り組みを行っている。



南っこころタイムのスライド



※話題提起から解決方法を紹介、ロールプレイまでクラスで行う。



# 2 なれる

## 1 学級力向上の取組について

児童にとってICTが効果的な学びのツールになるように、学年や発達段階に応じた系統的な活用を行っている。タブレット上での文字入力や思考の整理、タブレットを持ち寄って対話するなど、主にタブレットを使った学習になれる。

以下の表が、ICT活用の系統表の一例である。

### 低学年

学習	□ 授業録音や録画、英やグラフを使って情報整理できる	Jamboard スライド	Word	Excel	PowerPoint	【目的】 授業録音や録画、英やグラフを使って情報整理できる。
	□ 1～2点の基礎から、わかたことまで	Jamboard	Word	Excel	PowerPoint	【目的】 1～2点の基礎から、わかたことまでまでを整理できる。
	□ 情報整理や検索、調べ学習などができる	Jamboard スライド	Word	Excel	PowerPoint	【目的】 情報整理や検索、調べ学習などができる。
	□ 授業録音や録画などから、自分の考えを整理できる	Jamboard スライド	Word	Excel	PowerPoint	【目的】 授業録音や録画などから、自分の考えを整理できる。

### 中学年

整理分析	□ 英やグラフを使って情報を整理できる	スプレッドシート	Excel	【目的】 スプレッドシート上で示された表に情報を入力して、グラフを作成し、棒グラフから読み取れることについて考える。	
	□ 事実と意見、全株と部分などを分けながら情報を整理できる	Jamboard スライド	Word	PowerPoint	【目的】 事実と意見、全株と部分などを分けながら情報を整理できる。
	□ 2～3点の情報から、傾向や違いを探えることができる	Jamboard スライド	Word	PowerPoint	【目的】 2～3点の情報から、傾向や違いを探えることができる。

### 高学年

情報活用	□ 目的にあわせて、英やグラフを使って情報整理できる	スプレッドシート	Excel	【目的】 目的にあわせて、英やグラフの形式を選択しながら集めた情報を目的にあわせて、表やグラフの形式を選択しながらスプレッドシート上で整理する。	
	□ 複数の情報から、傾向や違いを探えることができる	スライド	Jamboard	PowerPoint	【目的】 複数の情報から、傾向や違いを探えることができる。
	□ 集めた情報を分析、考察して、新しくアイデアを生み出すことができる	スプレッドシート	Excel	【目的】 集めた情報を分析、考察して、新しくアイデアを生み出すことができる。	

## 2 授業における、端末の日常的な活用



音読の様子を録画したり、登場人物の気持ちを図を使って考えている様子



自分の考えを入力して、友達と意見を交流している様子



国語で、音読の様子を録画したり、登場人物の気持ちを図を使って考えている様子

# 3 まもる

## 1 情報モラル教育について

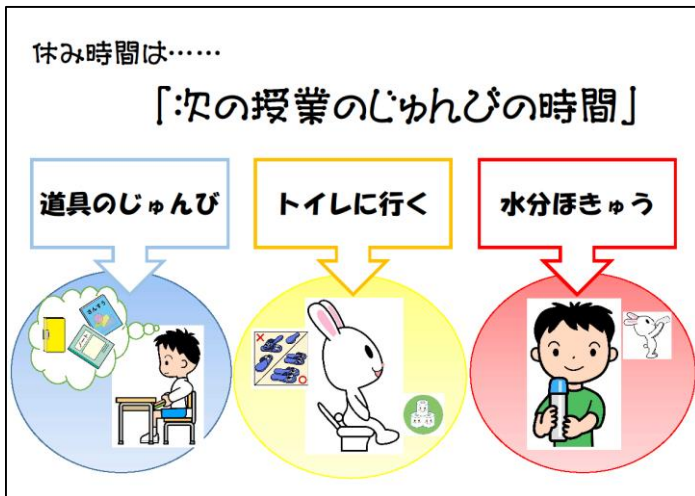


NTTドコモのオンラインによる「スマホ・ケータイ安全教室」を実施したり、人権擁護員の方からお話をしていたりしている。(本年度は12月に 実施予定。)



サイトを利用し、各学年の発達段階に応じて、インターネットの使い方についてクラスで考え、確認する時間を設けた。

## 2 共通実践としての重点取組（一分前着席）



「つくる」チームでは、全学年で【1分前着席】を共通実践事項とした。そのために休み時間の過ごし方を見直し優先的に取り組むことをポスターにして、各教室に掲示した。

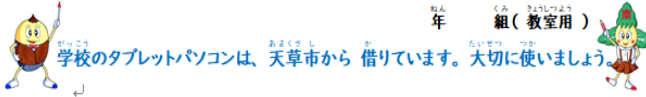


また、落ち着いた雰囲気の中で一斉に授業が始められるよう、開始1分前にはベルをならし、1人ひとりが授業開始の意識を持てるよう取り組んでいる。



### 3 タブレット使用の約束

#### タブレットパソコンを使うときのルール



- ①授業時間や先生の許可があるときにだけ、使います。↓
- ②机の上を整理して、使わない道具は片付けます。↓
- ③自分のタブレットパソコンを、他の人に使わせません。↓
- ④自分や他の人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は、インターネット上に絶対に書き込みません。↓
- ⑤相手がいやな気持ちになることを、絶対に書き込みません。↓
- ⑥シャットダウンをせず、アプリを終了して画面を閉じます。↓
- ⑦ピンクや黄色のシールをはがしません。はがれたら、すぐに先生に知らせます。↓

個人情報

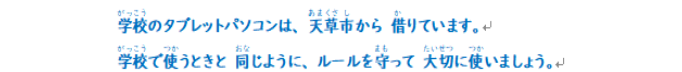


1 学校でタブレットパソコンを使用するときのルールを決め、児童に指導するためのカードを作成する。(資料1)

2 タブレットパソコンを家庭へ持ち帰るときにルールを決め、児童に指導するためのカードを作成する。(資料2)

3 児童がタブレットパソコンを学校で使用する際に、資料1の内容を指導する。各教室のタブレット保管庫の扉に掲示しておく。

#### タブレットパソコンを持ち帰るときにルール



- 家に持ち帰るとき、学校へ持って来るときは、ランドセルに入れます。水筒は別にします。↓
- 家や学校に着くまでは、ランドセルから出しません。学童などでも、使いません。↓
- 自分のタブレットパソコンを、他の人に使わせません。↓
- 充電・シャットダウンをして、決められた日に学校へ持って来ます。↓
- 宿題だけに使います。先生の許可があるアプリだけを使います。↓
- 自分や他の人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は、インターネット上に絶対に書き込みません。↓
- 相手がいやな気持ちになることを、絶対に書き込みません。↓
- ピンクや黄色のシールをはがしません。はがれたら、すぐに先生に知らせます。↓

個人情報



4 児童がタブレットパソコンを家庭に持ち帰る際は、資料2の内容を指導する。また、タブレットパソコンとともに、ルールのカードも持ち帰らせる。